



## 平成26年台風8号洪水における吉野川本川（早明浦ダム）の治水効果について

台風8号により7月9日5時から7月10日21時までの流域平均総雨量は、池田ダム上流域では182mm、そのうち早明浦ダム上流域で214mmを記録しました。

この降雨による洪水に対し、早明浦ダムでは流水のほぼ全量貯留し、下流の被害軽減に努めました。

	早明浦ダム
最大流入量	毎秒1,274m <sup>3</sup>
最大流入時放流量	毎秒0m <sup>3</sup>
最大流入時までの貯留量	2,801万m <sup>3</sup>

この洪水により、7月6日9時から実施していた第1次取水制限は、7月10日11時をもって全面解除になりました。

平成 26 年 07 月 11 日

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所  
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

～ 大自然の恵みをくらしに活かす ～  
柳瀬ダム管理60周年

【お問い合わせ先】

国土交通省四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所

管理課長 大谷 忠夫 (内線331)

(TEL) 0883-72-3000

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所

第一管理課長 杉浦 友宣 (内線331)

(TEL) 0883-72-2050

## 平成26年台風8号の早明浦ダムにおける効果

① 最大流入時の放流量

**0** m<sup>3</sup>/s

(平成26年7月10日8時20分観測)

②-① ダムで貯めた量

**1,274** m<sup>3</sup>/s

② 最大流入量

**1,274** m<sup>3</sup>/s

(平成26年7月10日8時20分観測)



④ 洪水前のダム貯水位

EL. **315.27** m

(平成26年7月9日17時00分観測)

③ 現在のダム貯水位

EL. **328.41** m

(平成26年7月11日15時00分観測)

③-④ ダム水位上昇量

**13.14** m上昇

早明浦ダムでは、流入量のほぼ全量を貯水池に貯めこむことで、ダムの貯水位を約13m上昇させました。

その結果、洪水前に59.5%であった利水貯水率は、100.0%まで回復しました。

これにより、7月6日9時から実施していた第1次取水制限は、7月10日11時をもって全面解除になりました。



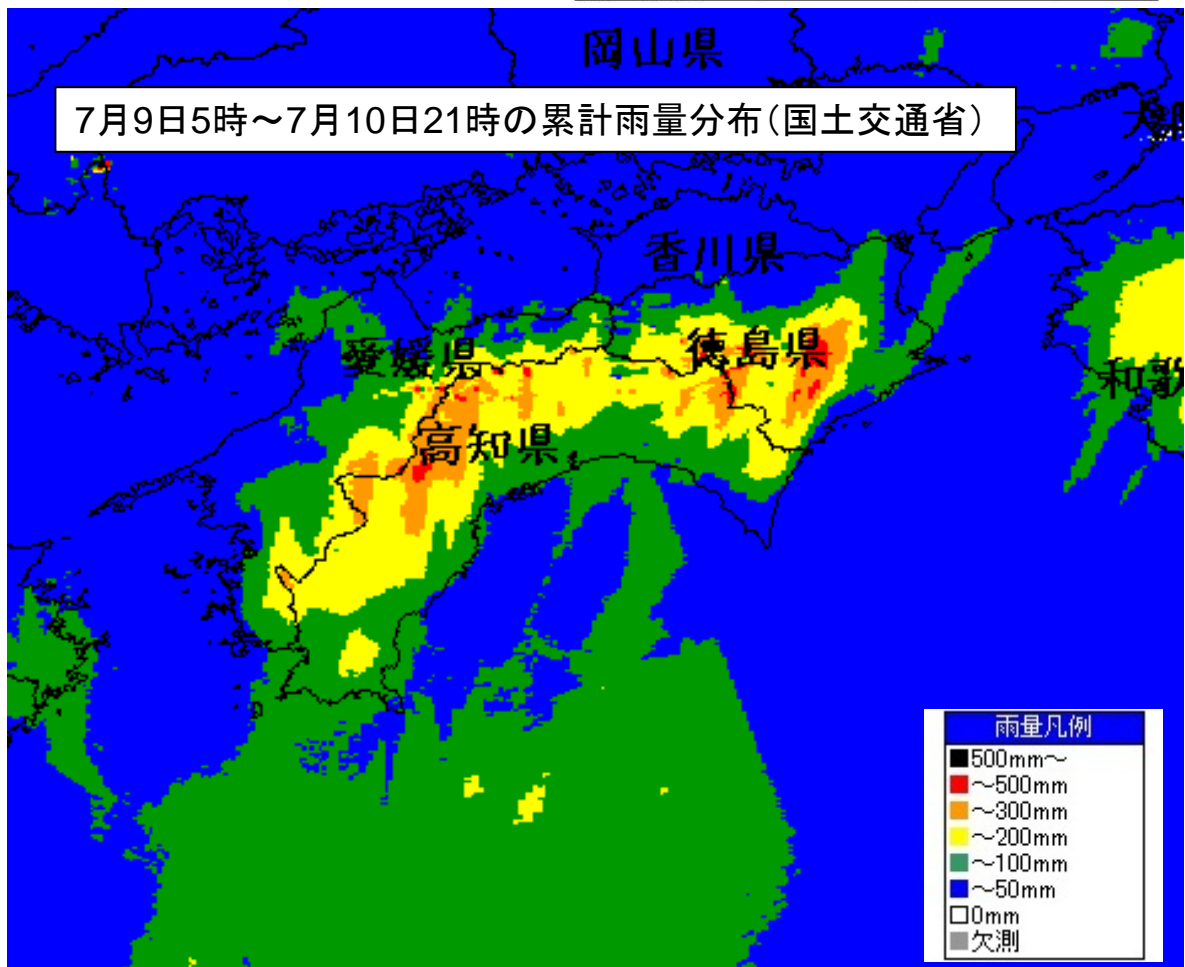
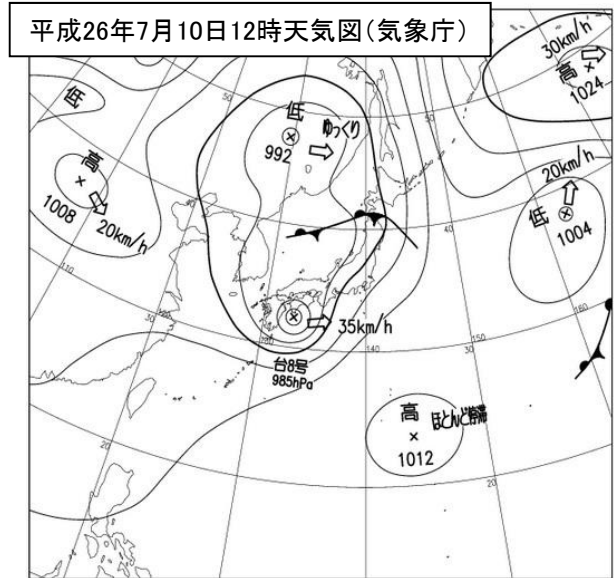
洪水前の早明浦ダム(貯水率59.5%)  
(平成26年7月7日9時撮影)



現在の早明浦ダム(貯水率100.0%)  
(平成26年7月11日9時撮影)

# 治水事業の効果 ～平成26年7月10日 台風8号による大雨における事例～

○台風8号による7月9日5時から7月10日21時までの流域平均総雨量は早明浦ダム上流域で214mmを記録しました。



## ダムが効果を発揮(早明浦ダム)

- 7月10日、台風8号に伴う降雨により、吉野川上流において洪水が発生しました。
- 早明浦ダムによって下流河川の水位低減を図り、下流の本山橋地点では水位を2.82m低下させました。

